

工事（実施・変更）設計書

令和6年度		款	1	項	1	目	1	節	1 4	審査	設計
工事番号	建工 第34号		実施（元）設計概要 映像設備関連 音響設備関連 委員会室関連 制御機器・ソフトウェア関連 その他設備関連 設計・工事・調整関連 配信機器設定関連 諸経費								
施工位置	見附市昭和町2丁目 地内										
工事名	見附市議会本会議場及び委員会室の映像・音響設備機器更新工事										
実施（元）設計額	円										
変更設計額											
実施（元）請負額			変更設計概要								
変更請負額											
工期	180 日間										

見附市役所

建工第 3 4 号

見附市議会本会議場及び委員会室の
映像・音響設備機器更新工事

仕様書

令和 6 年 7 月

新潟県 見附市

I 章 仕様書概要説明

1. 事業名 見附市議会本会議場及び委員会室の映像・音響設備機器更新工事
(以下「本業務」という。)

2. 本業務の目的・概要

本業務は、導入から10年以上経過した現在の映像・音響設備機器の更新を図るものである。

ハイビジョン対応カメラ、明瞭な音声取得のためのマイク設備及び簡単に操作ができるタッチパネル式議会運営ソフトウェアなどをそれぞれ導入することで、職員が容易に操作可能な環境を整えとともに、議会中継をインターネット経由で視聴する市民に高画質・高音質な映像音声を提供することを目的とする。

3. 発注者 新潟県 見附市

4. 本業務の履行場所 〒954-8686 新潟県見附市昭和町2丁目1番1号

5. 完成期限

契約締結日より、180日間とする。

6. 導入体制・信頼性

- ① 本業務全体を十分に管理可能な者が本業務の責任者となり、本業務を履行するに足る能力と経験のある技術者で体制を構築すること。また、稼働に向けての工程表を提出すること。
- ② 設備の構築、積算にあたってはシステムの信頼性が最も重要視されるものであることを理解し、システムの障害発生時には迅速な復旧対応が可能になる機能、体制を考慮したものにする。

7. 適用範囲等

本業務は、契約書によるもののほか、本仕様書により行うものとする。

なお、受託者は次の事項に留意して本業務を履行するものとする。

- ① 本業務に伴い知り得た秘密について、他に洩らさないこと。
- ② 定められた期間内に本業務を完了するため、作業の円滑化に努めること。
- ③ 本業務の実施に当たり、意図や目的を十分理解したうえで設置・施工を行うこと。
- ④ 本業務の履行に際しては、安全確保、災害・公害防止、盗難防止等業務の管理に万全を期すとともにデータの漏洩・滅失等の予防に十分留意し、業務の信頼性、安全性の確保に努めること。
- ⑤ 引き渡しを要さない発生材、不要となる機器等は関係法令に従い受託者の責任において処分

すること。

8. 調達要件等の概要

- ① 本業務の主たる機器の構成・システム要件は全て必須の要求要件とし、Ⅱ章 機器概要に示すとおりである。
- ② 応札する物品は、原則として入札時点で製品化されていること。
- ③ 納入のスケジュールについては工程表を提出し、議会事務局担当者と事前に協議するとともにその指示に従うこと。
- ④ 本業務は、議会運営に支障を来さないよう配慮して行わなければならない。
また、既設設備、機能・性能に損害・障害を与えないよう十分に措置を講じること。
- ⑤ 調達に係る機器は、指定する場所に搬入・設置・調整の後、取扱説明を行うこと。またその諸費用も本調達に含むものとする。
- ⑥ 現在、インターネット議会中継を実施しているため、映像・音声が問題なく受け渡しできるように設計・施工・調整を実施すること。
- ⑦ マイクシステムに関しては、マイクON/OFF操作を外部制御にて行う上で、マイクメーカーや、正規輸入元、正規代理店以外の会社であっても、仕様内容を開示し、タッチパネル方式による、マイク制御可能な機種を選定すること。
- ⑧ サポートの観点からマイクシステムは、国内メーカーを利用すること。また、タッチパネル式議会運営ソフトウェアに関しては、国内製のソフトウェアとすること。

9. システムの保守要件

- ① 瑕疵担保期間は検収後1年とする。
- ② 瑕疵担保期間終了後は、別途、締結された保守契約にてシステムの保守を行う。
- ③ システム保守は、調整、点検、問い合わせ対応、操作方法教授、ソフトウェア故障対応、ハードウェア故障対応等を保守内容に含めること。
- ④ 機器やシステムに障害が発生したときの対応体制を提示すること。
- ⑤ 保守連絡窓口を一元化すること。

10. その他

- ① 本仕様書に記載のない事項については、発注者の指示に従うこと。
- ② 本仕様書に対して疑義が生じた場合は、発注者と協議の上、決定すること。

Ⅱ章 機器概要

本会議場及び委員会室の現場における各機器の配置については、別添の図面（設置配置図）によるものとする。

本仕様書巻末の「機器構成リスト」に、仕様の要求水準に照らし想定する機器を例示する。なお、リストに掲げた品名・型番は、参考として例示するものであつて、使用する機器のメーカー、品名等を指定したものではない。同等の性能を有する機器により、仕様を満たすシステムを構築することを妨げるものではない。同様に、これら機器の接続及び構成については、巻末「機器構成図」の内容を想定するものである。

1. 本会議場 映像関連設備

- ① 本会議場内に水平、垂直回転が可能な旋回型フルハイビジョン対応カメラを2台設置し、カメラ用取付金具を有すること。カメラの撮影対象はそれぞれ、議長席・演壇席・執行部席撮影用1台、質問席・議員席撮影用1台とする。カメラ位置は議会事務局と相談の上、決定する。映像出力はHD-SDI信号が出力可能な機種を選定すること。また、光学ズーム20倍以上及びパン±170°、チルト+90°～-20°の広範囲で撮影が可能なこと。更に、ワイド時の水平画角は70°であること。
- ② カメラ映像・休憩映像を切り替える映像スイッチャーを設置し、テロップを表示するテロップインターフェース及び会議前後や休憩中の映像を流すインターフェースを接続すること。
- ③ 本会議場内の映像と音声をミックスするための機器を設置すること。
- ④ 議会議中継映像をブルーレイレコーダーに録画できる機器を設置すること。また、録画の開始・停止制御が出来ること。録画確認用の10インチ程度のモニターをラック内に設置すること。
- ⑤ 質問席には、既存の21.5型モニターに加え10インチ程度の手元モニターを設置し、発言残時間を表示すること。
- ⑥ 本会議場内設置モニターとして50型相当の液晶ディスプレイを設置すること。また、本会議場内設置モニターには、オンエア映像・発言残時間・出席議員数を同時に表示できること。更に、議会の要望に応じて、表示内容をカスタマイズできること。
- ⑦ 本会議場内設置モニターは、画面の表示角度等を考慮し、場内のどの場所からでも支障なく見えるように配置を調整すること。
- ⑧ 既存の配信用システムに映像と音声を入力するため、必要となるコンバーター・分配機を設置し、それぞれに映像と音声を接続すること。
- ⑨ 長距離の配線や映像の分配数を増やす場合は、延長器・分配器を入れ、デジタル信号が正しく本会議場内モニターや各映像機器に入力出来ること。
- ⑩ 操作タッチパネルは、本会議場執行部席に設置すること。タッチパネル以外の操作機器の設置は省スペース性を保つため認めない。
- ⑪ ラックは、録音室に設置すること。耐震対策の為、床に固定する工事を実施すること。
- ⑫ 録音室は、配線取り回し用に床が上がっているため、ラック設置時に床の強度が下がることのないよう施工を行うこと。

2. 本会議場 音響関連設備

- ① マイクは、議長席1本、演壇席1本、局長席1本、質問席1本、執行部各席及び予備を含め計28本設置とする。
- ② マイクは、各席で共通する機器を使用し、取り替えが可能なものとする。
ただし、議長席用のマイクには、優先発言機能を有し、全てマイクをOFFすることが可能なスイッチを付加すること。
- ③ 議長席、演壇席、質問席の3箇所のマイクは、ACアダプターを接続し電源供給が行えるようにすること。
- ④ 各席のマイクは赤外線タイプ方式とし、基本的な形状は机上据置とする。必要な機能は次の通りとする。
 - ・発言可能LEDランプ
 - ・発言マイク（グースネック型 620mm 程度）口元と根元の2か所可動部するタイプ
 - ・個別音量機能
 - ・マイク ON/OFF スイッチ
 - ・モニタースピーカー
- ⑤ リチウムイオンバッテリーを予備分も合わせて準備し、充電器も用意すること。
- ⑥ マイクの受光機は高天井用送受信機を設置すること。
- ⑦ マイクの赤外線を場内で受信ができない箇所が発生しないよう設計すること。
- ⑧ マイクを集中コントロールするセンター装置を設置し、タッチパネルからのマイクコントロールが出来ること。
- ⑨ オーディオマトリックスプロセッサーを導入し、本会議場内音声ハウリング等無く、違和感なく聴取出来ること。また、音響調整に当たり、専門技術者を派遣し、測定・調整を実施すること。
- ⑩ ICレコーダーを新たに導入し、本会議場内の音声の録音が出来ること。また、1台DN-500Rの既存機器を流用してラック搭載し故障に備え、計2台を設置し、同時に録音が出来ること。
- ⑪ 本会議場内の音声は、既存の天井スピーカーを流用すること。
- ⑫ 本会議場及び議会事務局・委員会室を選択式でスピーカーに拡声できること。
- ⑬ マイクは、委員会室での利用もできるように設計すること。
- ⑭ 現行の庁内への拡声制御機を撤去するため同様に拡声することができるミキサーアンプを設置すること。

3. 本会議場 操作システム関連設備

- ① 本会議場内のマイク・カメラ・残時間等を制御する操作用タッチパネル1台(21.5インチ程度)を設置すること。
- ② その他タッチパネル操作に必要な、周辺機器を設置すること。
- ③ 制御用のシステムコントローラーは、システムの安定運用のため、ソフトウェアのフリーズが少なく、ウイルスへの感染が少ないOSを利用すること。

- ④ 上記③及び、システムの長期間の安定運用のため、制御用のシステムコントローラーのOSは、汎用OSではなく、サポート期間の終了等の影響を受けにくい専用OSを想定しているが、その他のOSを用いる場合には、発注者との協議により決定するものとする。
- ⑤ 委員会室での会議開催時にシステムを切り替えて利用ができること。
- ⑥ 映像音声はエンベデットしたうえで5階録音室にある庁内配信エンコーダーへ送出すること。

4. 本会議場 議会運営ソフトウェアについて

《設計要件》

- ① タッチパネルを使用し、ワンマンオペレーションによる議会運営が可能なこと。また、ハイビジョンカメラ(2台)、スイッチャー、テロップインターフェース、マイクを統合的に制御し、視覚的に分かりやすく、簡単な、ワンマンオペレーションで操作可能であること。
- ② タッチパネル操作で、発言残時間、出席議員数の操作が可能であること。
- ③ タッチパネル操作により、マイクON、自動カメラ移動、映像切り替え、テロップ表示が可能であること。
- ④ カメラ切り替え時のカメラが旋回する映像や切替前の静止映像を表示しないこと。
- ⑤ 1台のタッチパネル内にカメラ台数分の映像とオンエア映像を表示すること。
- ⑥ タッチパネル画面は、本会議場の座席レイアウトに沿って作成すること。
- ⑦ 制御方式は、カメラ・マイク連動制御方式、マイクのみ制御方式、カメラのみ制御方式の3パターンの制御が運営中であっても、切り替え可能なこと。
- ⑧ 開会と同時に録音・録画が自動開始され、録音・録画に漏れが無いようにすること。
また、休憩や閉会の際は録音・録画が自動で停止すること。
- ⑨ タッチパネル操作で、個別にマイク音量を調整できること。
- ⑩ 演壇席・質問席に登壇した場合でも議員や執行部担当者ごとにあらかじめ設定したマイク音量を引き継げること。
- ⑪ システムの安定運用のため、コントローラー部には、駆動部品を使用せず、コンパクトフラッシュ相当のメモリ媒体を使用すること。また、ファンレス設計であること。
- ⑫ テロップインターフェースは、議員名・執行部役職名・一般質問項目・会議名・お知らせ文等を事前に登録でき、タッチパネル上で変更可能であること。また、ローマ字入力、かな入力、外字等に対応していること。
- ⑬ テロップ表示登録は会議ごとに事前登録できるものとし、運営中も登録・変更可能であること。
- ⑭ 議会運営の進捗結果が、ログデータとして残り、Excel等で保存出来ること。
- ⑮ 委員会室での会議開催時にシステムを切り替えて利用ができること。

《カメラ操作》

- ① タッチパネル上の議員席に触れると、あらかじめ登録されたカメラアングルに動作すること。
- ② カメラのアングルを変更した場合は、運営中であっても登録ボタンを押すことにより、登録出来ること。
- ③ タッチパネル画面上のカメラ映像に触れることにより、パン、チルト、ズームを直感的に操作出来ること。

《テロップ操作》

- ① タッチパネルの議員席に触れると、あらかじめ登録された議員の氏名が自動的に表示されること。
- ② 文字表示は、2段20文字で表示可能なこと。
- ③ 長文の場合はスクロールにて表示対応出来ること。
- ④ 議員の氏名や執行部の役職名、氏名は、タッチパネル上で、変更が可能なこと。
- ⑤ ソフトキーボードにて、文字単位でなく、単語単位で漢字変換ができること。
(例：古今東西”ここんとうざい”などの語句が一度に変換可能であること。)
- ⑥ 運営中であっても文字修正、文字登録が可能なこと。

《残時間・出席議員操作》

- ① タッチパネルから発言残時間の入力、スタート、ストップ操作が可能なこと。
- ② タッチパネルから出席議員数の入力、増減操作が可能なこと。本会議場内モニターに表示する内容は、タッチパネルから希望する任意のレイアウトに変更可能なこと。

例：A：オンエア映像＋出席議員数＋発言残時間

B：オンエア映像＋発言残時間

C：オンエア映像のみなど

議会事務局と協議の上、決定する。

- ③ 発言残時間によってベルが自動で鳴ること。

例：5分前に1鈴、1分前に2鈴 等

議会事務局と協議の上、決定する。

5. 本会議場 その他関連設備

- ① 無停電電源装置(UPS)を設置し、瞬停などで主要機器が故障しないようにしておくこと。
- ② 主電源ユニットを設置し、電源投入を一括で出来るように考慮すること。
- ③ 仕様書に記載の無い機器でもシステム運用上必要な機器は本調達に含めておくこと。

6. 委員会室 映像関連設備

- ① 委員会室内に水平、垂直回転が可能な旋回型フルハイビジョン対応カメラを1台設置し、カメラ用取付金具を有すること。カメラ位置は議会事務局と相談の上、決定する。

映像出力はHD-SDI信号が出力可能な機種を選定すること。また、光学ズーム20倍以上及びパン±170°、チルト+90°～-20°の広範囲で撮影が可能なこと。更に、ワイド時の水平画角は70°であること。

- ② 委員会室での会議開催時に本会議場のシステムと切り替えて利用ができること。

7. 委員会室 音響関連設備

- ① 本会議場で利用している赤外線マイクを流用し運用できるよう設計すること。
- ② 赤外線を受光機を天井に設置すること。
- ③ レコーダーは本会議場のレコーダーを流用できること。

8. 委員会室 操作システム関連設備

- ① 委員会室のマイク・カメラ・テロップ等を制御する操作用タッチパネル1台(21.5インチ程度)を設置すること。本会議場で利用しているシステムを切替えて運用できるよう設計すること。
- ② その他タッチパネル操作に必要な、周辺機器を設置すること。
- ③ 制御用のシステムコントローラーは、システムの安定運用のため、ソフトウェアのフリーズが少なく、ウイルスへの感染が少ないOSを利用すること。
- ④ 上記③及び、システムの長期間の安定運用のため、制御用のシステムコントローラーのOSは、汎用OSではなく、サポート期間の終了等の影響を受けにくい専用OSを想定しているが、その他のOSを用いる場合には、発注者との協議により決定するものとする。
- ⑤ 委員会室の映像及び音声は本会議場に隣接する録音室へ送出すること。

9. 委員会室 議会運営ソフトウェアについて

《設計要件》

- ① タッチパネルを使用し、ワンマンオペレーションによる議会運営が可能なこと。また、ハイビジョンカメラ(1台)、テロップインターフェース・マイクを統合的に制御し、視覚的に分かりやすく、簡単な、ワンマンオペレーションで操作可能であること。
- ② タッチパネル操作により、自動カメラ移動、映像切り替え、テロップ表示が可能であること。
- ③ 1台のタッチパネル内にカメラ台数分の映像とオンエア映像を表示すること。
- ④ タッチパネル画面は本会議場の座席レイアウトに沿って作成すること。
- ⑤ 制御方式は、カメラ・マイク連動制御方式、マイクのみ制御方式、カメラのみ制御方式の3パターンでの制御が運営中であっても、切り替え可能なこと。
- ⑥ 開会と同時に録音・録画が自動開始され、録音・録画に漏れが無いようにすること。
また、休憩や閉会の際は録音・録画が自動で停止すること。
- ⑦ システムの安定運用のため、コントローラー部には、駆動部品を使用せず、コンパクトフラッシュ相当のメモリ媒体を使用すること。また、ファンレス設計であること。
- ⑧ テロップインターフェースは、会議名・お知らせ文等を事前に登録でき、タッチパネル上で変更可能であること。また、ローマ字入力、かな入力、外字等に対応していること。

- ⑨ テロップ表示登録は、会議ごとに事前登録できるものとし、運営中も登録・変更可能であること。
- ⑩ 議会運営の進捗結果が、ログデータとして残り、Excel等で保存出来ること。

10. 委員会室 その他関連設備

- ① 録音室に設置するラックは、委員会室の設備の収納を考慮したものを設置すること。
- ② 議会配信向けエンコーダーの設定変更及び配信サーバーの設定変更を、下記、既存の配信システムメーカーと連携の上実施すること。

＜連携先＞

株式会社 ジェイ・フィット

Ⅲ章 その他

1. システムの保守について

瑕疵担保期間は、検収後1年間とする。また、急な障害が生じた際には現地に伺い、迅速なシステム復旧を行うこと。

2. 作業について

- ① 本業務に必要な機器設置・配線作業は、機器導入時に合わせて行うこと。
- ② 配線ルートに関しては協議の上、敷設方法を明確にした上で実施すること。
機器設置・配線に伴い床のカーペットをはがした場合は、作業終了後に現状復帰すること。
なお、本会議場側面等可視部分に敷設する場合は、本会議場全体の景観保持に配慮すること。
- ③ 既存のマイク及びカメラは事前協議後、全て撤去すること。また撤去に伴う撤去跡や損傷については、現状に近い形で修復すること。
- ④ 機器は、発注者と事前協議の上、適正な位置に収納又は設置すること。また、機器同士を繋ぐ配線についても整理整頓すること。
- ⑤ 端子付近に配線の接続先がわかるよう設備機器名称・端子等を明示すること(丸札の取付等)。

3. 不要機器備品の撤去及び廃棄について

- ① システム更新にあたり、更新前の不要機器や備品がある場合、取り外した機器は委託者の指示のもと撤去・廃棄すること。
- ② 不要なケーブルは配管から抜き取ること。
- ③ 本会議場速記者席の撤去及び廃棄も行うこと。
- ④ 県の許可を受けた産業廃棄物処理業者を利用し適切に廃棄処理を実施すること。

4. マニュアルの作成、操作説明、立ち会いについて

- ① 機器の設置完了後、操作マニュアルを作成し提出すること。

- ② 議会事務局に対し、操作説明会を行うこと。
- ③ システム導入後の最初の議会運営時には、システムに精通した者が立ち会うこと。

5. 検査について

受託者は、発注者の立会いのもと検査を実施する。また、検査に要する一切の費用については受託者の負担とする。

6. 各種提出書類について

以下の成果物を発注者が指定する仕様により提出すること。

- ① 契約関係書類
- ② システム図面
- ③ 各機器の取扱説明書、保証書等をファイリングしたもの
- ④ 完成図書
- ⑤ その他発注者より指示があったもの

7. 担当部署・連絡先

見附市 議会事務局

〒954-8686 新潟県見附市昭和町2丁目1番1号

電話 : 0258-62-1700

ファックス : 0258-63-1006

電子メール : gikai@city.mitsuke.niigata.jp

機器構成リスト（例示）

以下に、仕様の要求水準に照らし想定する機器を例示する。リストに掲げた品名・型番は、参考として例示するものであって、使用する機器のメーカー、品名等を指定したものではない。同等の性能を有する機器により、仕様を満たすシステムを構築することを妨げるものではない。

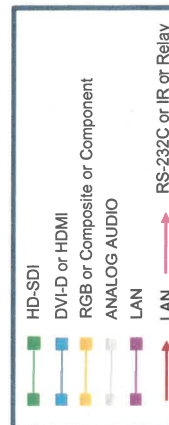
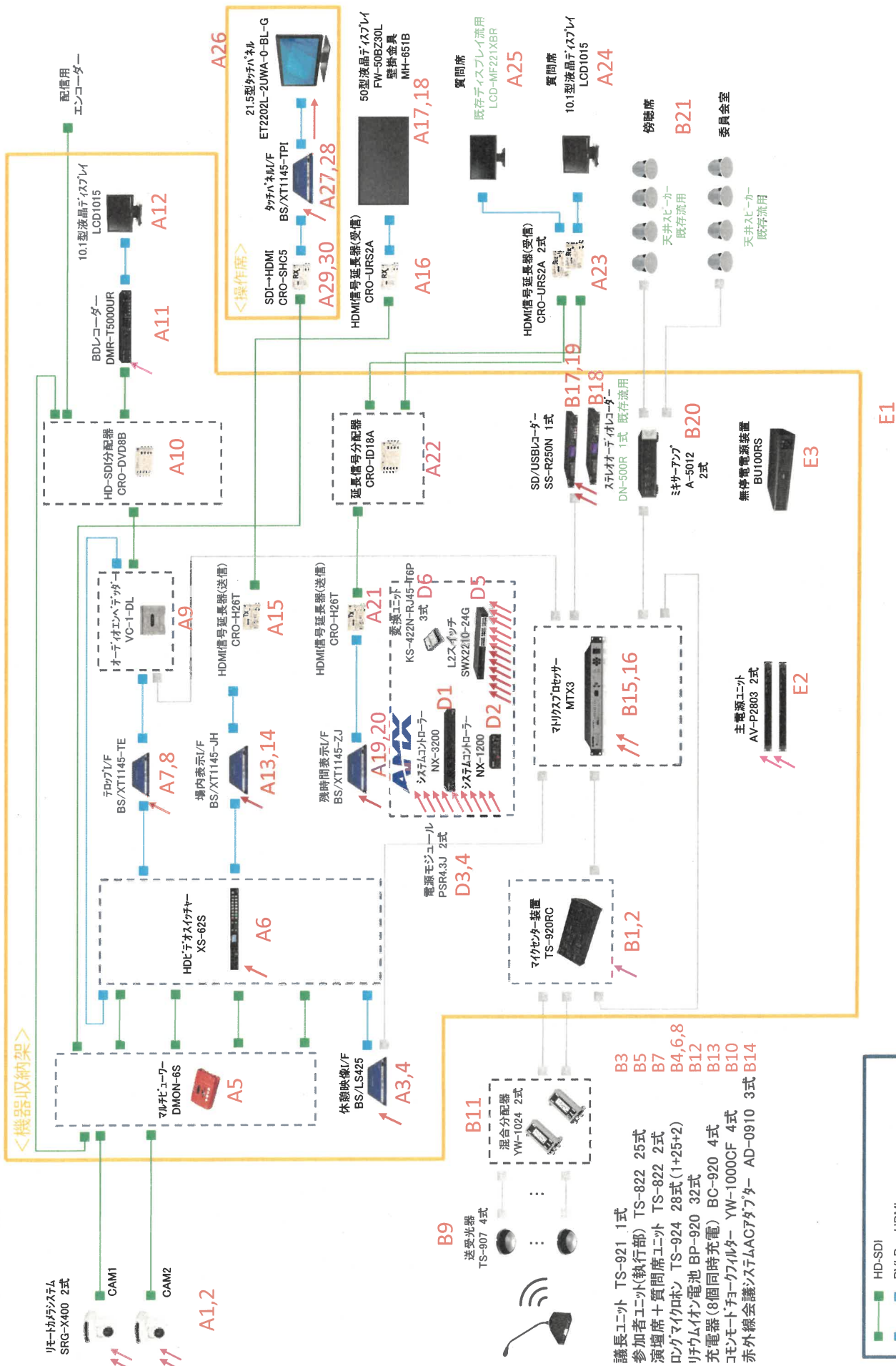
No	品名・仕様	数量
A	映像設備関連	
1	旋回型ビデオカメラ SRG-X400	2
2	カメラ取付金具	2
3	休憩映像インターフェース BS/LS425	1
4	microSDカード(4GB) RP-SMGA04GJK	1
5	マルチビューワー DMON-6S	1
6	HDビデオスイッチャー XS-62S	1
7	テロップインターフェース BS/XT1145-TE	1
8	microSDカード(4GB) RP-SMGA04GJK	1
9	オーディオエンベッダー VC-1-DL	1
10	1入力8出力 HD-SDI分配器 CRO-DVD8B	1
11	デジタル入力ブルーレイレコーダー DMR-T5000UR	1
12	10.1型ワイド液晶ディスプレイ LCD1015	1
13	場内表示用インターフェース BS/XT1145-JH	1
14	microSDカード(4GB) RP-SMGA04GJK	1
15	HDMI信号同軸延長器 送信器 CRO-H26T	1
16	4K映像対応HDMI信号同軸延長器・受信器 CRO-URS2A	1
17	4K業務用ディスプレイ ブラビア FW-50BZ30L	1
18	壁掛金具 MH-651B	1
19	残時間表示用インターフェース BS/XT1145-ZJ	1
20	microSDカード(4GB) RP-SMGA04GJK	1
21	HDMI信号同軸延長器 送信器 CRO-H26T	1
22	延長信号分配器 CRO-ID18A	1
23	HDMI信号同軸延長器 受信器 CRO-URS2A	2
24	10.1型ワイド液晶ディスプレイ LCD1015	1
25	21.5型ワイド液晶ディスプレイ LCD-MF221XBR（既存流用）	—
26	21.5型ワイドLCDタッチモニター ET2202L-2UWA-0-BL-G	1
27	タッチパネルインターフェース BS/XT1145-TPI	1
28	microSDカード(4GB) RP-SMGA04GJK	1
29	SDI to HDMIコンバーター CRO-SHC5	1
30	EIA19型ラックマウント金具 MK-U104	1

No	品名・仕様	数量
B	音響設備関連	
1	録音機能付きセンター装置 TS-920RC (議長席用)	1
2	ラックマウント金具 MB-TS900 (議長席用)	1
3	赤外線会議システム 議長ユニット TS-921 (議長席用)	1
4	ロングマイクロホン TS-924 (議長席用)	1
5	赤外線会議システム 参加者ユニット TS-822 (執行部用 参加者用マイク)	25
6	ロングマイクロホン TS-924 (執行部用 参加者用マイク)	25
7	赤外線会議システム 参加者ユニット TS-822 (発言席用マイク)	2
8	ロングマイクロホン TS-924 (発言席用マイク)	2
9	高天井用送受光器 TS-907	4
10	コモンモードチョークフィルター YW-1000CF	4
11	混合分配器 YW-1024	2
12	リチウムイオン電池 BP-920	32
13	充電器(8個同時充電) BC-920	4
14	赤外線会議システムACアダプター AD-0910	3
15	マトリクスプロセッサ MTX3	1
16	SDHCメモリーカード(4GB) RP-SDWA04GJK	1
17	ソリッドステート/ステレオオーディオレコーダー SS-R250N	1
18	ステレオオーディオレコーダー DN-500R (既存流用)	—
19	SDHCメモリーカード(4GB) RP-SDWA04GJK	4
20	ミキサーアンプ A-5012	2
21	天井スピーカー(既存流用)	—
22	音響調整作業費	1

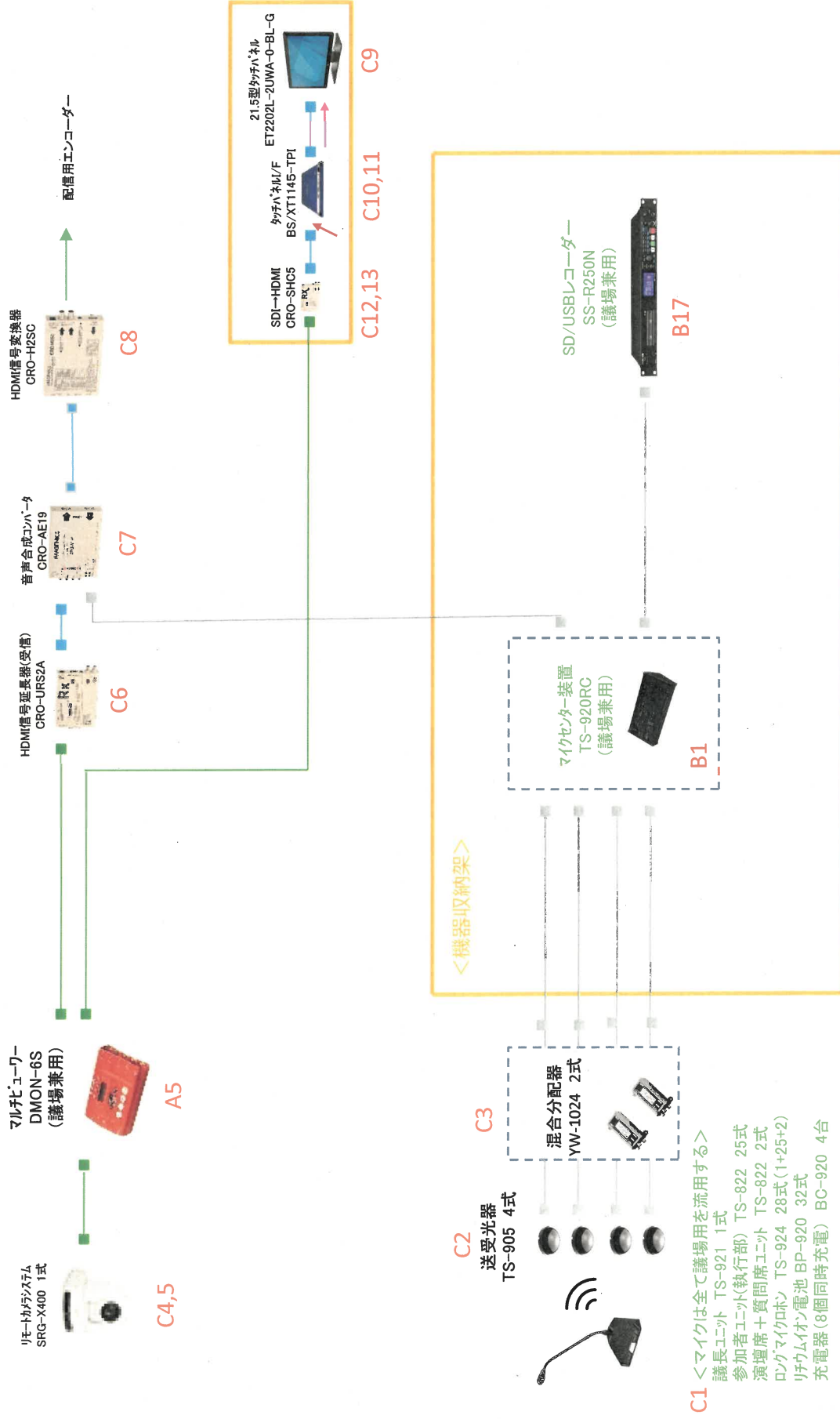
No	品名・仕様	数量
C	委員会室関連	
1	マイク（本会議場マイクを流用）	—
2	送受光器 TS-905	4
3	混合分配器 YW-1024	2
4	旋回型ビデオカメラ SRG-X400	1
5	カメラ取付金具	1
6	4K映像対応HDMI信号同軸延長器・受信器 CRO-URS2A	1
7	音声合成コンバータ CRO-AE19	1
8	HDMI(DVI)to 3G/HD/SD-SDI変換器 CRO-H2SC	1
9	21.5型ワイドLCDタッチモニター ET2202L-2UWA-0-BL-G	1
10	タッチパネルインターフェース BS/XT1145-TPI	1
11	microSDカード(4GB) RP-SMGA04GJK	1
12	SDI to HDMIコンバーター CRO-SHC5	1
13	EIA19型ラックマウント金具 MK-U104	1

D	制御機器・ソフトウェア関連	
1	システムコントローラー NX-3200	1
2	システムコントローラー NX-1200	1
3	電源モジュール PSR4.3J	2
4	ラックマウント金具 AVB-RMK	1
5	スマートL2スイッチ 24ポート SWX2210-24G	1
6	制御信号変換器 KS-422N-RJ45-T6P	3
7	基本タッチ議会制御ソフトウェア	1
8	ソフトウェア画面デザイン	1
9	ソフトウェア社内設計／開発費	1
10	ソフトウェア制御事前確認作業費	1
11	現地システム調整・設定費	1
No	品名・仕様	数量
E	その他設備関連	
1	機器収納架 特型	1
2	パワーディストリビューター AV-P2803	2
3	無停電電源装置(常時インバータ/ラックマウント) BU100RS (Web会議対応設備)	1
F	設計・工事・調整関連	
1	システム設計費	1
2	事前準備作業費	1
3	現地工事費	1
4	現場管理費	1
5	配線及び通線材料費	1
6	現地システム全体調整費	1
7	取扱説明費	1
8	完成図書費	1
9	交通・宿泊費	1
10	諸経費	1
G	配信機器設定関連	
1	エンコーダー設定現地作業、サーバー設定作業	1

議場設備機器構成図



委員会室設備 機器構成図



	HD-SDI
	DVI-D or HDMI
	RGB or Composite or Component
	ANALOG AUDIO
	LAN
	LAN
	RS-232C or IR or Relay